

地平線

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部機関誌

2017年12月20日 343号

全日本港湾労働組合関西地方建設支部

〒552-002

大阪府大阪市港区築港1-12-27

電話 06-6572-2105 / FAX 06-6574-5648

kensetsu @ crux. ocn. ne. jp

この1年を振り返り点検し、
新年（戌年）に向け
覚悟を固め準備しよう！

建設支部執行委員長 泊 寛二

今年も押し詰まってきました。
冬季一時金はじめ冬季諸要求の団体交渉も、ほ
ぼ終わりつつあります。
樋口12/13団交、西成・12/22大阪市
交渉など、あと少しを残すだけになっています。
支部としても、各個人としてもこの1年を振り返
り、新年に向けての準備をする時になっています。

支部としては、昨年8月に吹き起こった太平
ビルサービス分会の組織破壊策謀に対して、分
会を中心に支部全体で対抗してきました。あれ
から1年余りが経ちました。2回の分会大会、
2回の支部大会を経て、新しい体制を分会・支
部とも作り上げてきています。財政的条件もあり、
支部では「専従体制」をとらないことを決め、
高齢組合員を中心にボランティアで事務機能は
維持してきています。儀礼的・形式的なことや余
分な事務はしないことにしています。必要最小限
な実務と、より現場的・実践的な戦術や活動に財
力や人的力を投入する考えに転換しています。不
十分な点や足らないところは、ザックバランに指
摘し声を出して下さい。共に改善しながら支部活
動を進めていきます。

太平ビルサービス分会ではITを使った分会



活動に移行できるよう工夫が続けられています。
支部もそれに習いながらITについて学習をし
て活用できることを吸収し、実践に使えるよう
共同作業を進めています。来年後半にはその成
果を支部員のみなさんと共有できれば良いと思っ
ています。高齢者の多い今の支部では、若者の
ように身体を動かせる活動は限界があるし、情
報の伝達・共有も費用を賭けない方法を追求し
「セキュリティー」もおさえつつ進めます。

社会・政治的には、10/22総選挙で安倍
政権の勝利に終わり現状継続が続いています。
しかし、立憲民主党の形成や野党共闘の存在な
ど反撃の足場は生きているので、憲法改悪反対
はじめ民主主義を力あるものにして、労働法改
悪を許さない政治的活動を共に闘っていきましょ
う。

来年は「戌年」で明治維新150年です。評
論家・加藤典洋がおもしろいことを言っています。
(第4面に続く)

「介護と年金」勉強会に参加して

支部執行委員 栗飯原義胤

地域合同労働組合と建設支部共催「介護と年金」勉強会に参加しました。講師はお二人の社会保険労務士でした。

《自分の表を作ってみましょう》

目を引いたのは下の表です。

夫(55 歳) 妻(50 歳) 子(18 歳) の三人家族のこの先 20 年の年金、健康保険、雇用保険の変遷を働き方、リタイアの時期をからめて確認していくためのものです。

それぞれの就職、退職、再就職、年金受給開始などで、三人の国民年金の加入種別の変更や健康保険、雇用保険などの加入状況を、枠内に記入することによって制度の確認を確認していく仕組みになっています。もちろん単身者も活用できる表です。

《意外に難しい》

例えば、夫はこの表では何故か 55 歳で退職してしまいます。リストラかイジメか、独立自営か、なにしろ妻パートタイマー、未成年の子供アルバイトですから、本人にも家族にも影響大きそうです。

①まず年金から見ていくと、夫は在職中は厚生年金（又は共済年金）に加入していたが、これは資格喪失し国民年金の一号被保険者（自営業者等が対象）となる。ここがややこしいのですが、表の一例目にあるように、夫は従来厚生年金の被保険者であったと同時に国民年金の二号被保険者でもありました。現在何らかの職場の公的年金に加入している人は同時に国民年金にも制度上加入していることになっています。

「退職時と老後の生活設計」

	2017 年	2019 年	2022 年	2027 年
夫（S37 年生）	55 歳退職	57 歳パート （週 20H 以上）	60 歳フルタイム	65 歳フルタイム 年金受給開始
国民年金 第 2 号被保険者				
健康保険 被保険者				
雇用保険 被保険者				
妻（S42 年生）	50 歳パート （週 20H 以上）	52 歳パート （同左）	55 歳パート （同左）	60 歳パート
国民年金				
健康保険				
雇用保険				
子（H11 年生）	18 歳アルバイト （週 20H 未満）	20 歳アルバイト	23 歳フルタイム	28 歳フルタイム
公的年金				
健康保険				
雇用保険				

（表はこの後も 10 年夫が 75 歳になるまで続くのですがここでは省略しています。）

②妻が職場の年金、健康保険に加入しない働き方の場合、夫が国民年金二号被保険者であれば自分は三号被保険者となっていました。保険料は払ってませんが年金加入歴となるものです。ところが夫が一号被保険者になったため妻も三号から一号に変わり国民年金保険料の負担が発生します。過去にはこの切り替えが出来ずに妻に無年金期間が発生し、年金受給額に影響した例も多かったと言われています。

③子は18歳ですのでまだ国民年金加入の必要はありません。これが成人の子ですと国民年金に加入しなければいけないケースも出てきます。

④健康保険も同様で、従来夫の健康保険の扶養家族であったものが、家族も国民健康保険に加入することになります。

⑤夫の退職理由とかその他の要因によっては、家族の社会保険料が大幅に増加するケースも考えられます。昨年から週20時間以上働く人にも社会保険の加入資格が拡大されているので、妻が職場の社会保険に加入する方が有利なケースも考えられます。

《制度は複雑怪奇》

例えば年金では将来の年金受給額だけでなく、加入種別によって障害年金や遺族年金の受給要件が違うなど、働き方と加入社会保険の選択で大きく結果が違うケースもあります。

雇用保険、健康保険も同様のことが考えられます。制度は複雑怪奇に出来上がっています。単に「老後」を漠然と考えるのではなく、制度

とあわせてリアルに捉えることによって具体的な姿が見えることもあります。制度は不親切に出来ています。よっく検討してみましょう。

このテーマに興味のある人、差し迫って聞いてみたいことのある人は「大阪労働者福祉協議会」が月1回開催する「退職準備セミナー」をのぞいて下さい。

「年金・雇用保険・健康保険・税金に関する講座」で定年退職を迎えるにあたっての基本的な知識を得られるものとなっています。具体的には「年金の見込み額は」、「働きながら年金を受け取る場合の注意点は」、「退職後の健康保険は」、といったような内容です。また、退職後の保障について、全労済による説明もあります。夫婦での参加も歓迎だそうです。

大阪労働者福祉協議会は労働組合、労働金庫、全労済等が参加しています。講師は太平ビル分会もお世話になったベテラン社会保険労務士です。

次回開催は

1月13日(土) 13時30分～16時 エル・おおさか本館 10階 松の間

20名先着順受付、受講料 無料

大阪労福協事務局へ直接電話で申込

TEL: 06-6943-6025

講師 社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー 保理江 正剛 さん

新年のスケジュール

1/1(月) 8:00 西成分会・ピラ「大阪城」新年号、地域で配布

1/9(火) 15:00 太平・執行委員会

18:30 春闘討論集会・旗開き

1/19(金) 10:00 関西地本・18春闘討論集会(港・第1センター)

18:00 太平(大東) 旗開き

1/22(月) 13:30 全港湾中央委員会(春闘方針決定)～1/23

1/23(火) 18:45 南大阪平人・旗開き(港合同・田中機械)

1/26(金) 17:00 太平(紀和) 旗開き

2/2(金) 18:00 太平(東大阪・市内) 旗開き

歴史の射程を300年先まで延ばし、「300年の歴史の湖」に「明治維新150年の船」浮かべて、そんな風景で考えたら良いと。300年まで射程が延びると、徳川8代暴れん坊将軍(紀州・吉宗)の時代です。

この時代、尊王思想が生まれていますが徳川権力に敗北しています。「攘夷思想」とは結びついていません。開国の内的動力になった「蘭学」(オランダ研究)が医学を軸に解放・拡大されています。明治維新の小さな芽が生まれています。

明治維新150年という時、建設支部もその内50年近くを活動し生き延びてきています。来年からの3年間は一続きのもので「激動の3カ年」になりそうです。憲法改悪政治、2019年には新天皇出現、参議院選挙、2020年オリンピックなどがあり社会も大きく変動しそう

です。その流れの中、しっかり労働組合としての覚悟を固め共により強く、より確かに、より幸福に生き抜いていきましょう。よろしく！



2018年

全港湾建設支部 新春旗開き

と き 2018年1月9日(火)

18:30~

ところ 大阪港湾労働会館3階

/地本第2・3会議室

(最寄駅:地下鉄「大阪港」)

連絡先 06-6572-2105

仲間みなさまの参加をよびかけます!!!